

アイチ ヤングアントレプレナーズ

サウス・バイ・サウスウエスト

Aichi Young Entrepreneursⁱ: Fly to SXSW! ~愛知県学生海外発表事業~

サウス・バイ・サウスウエスト

SXSW とは？

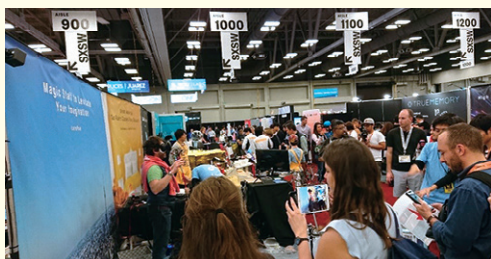
皆さんは、「サウス・バイ・サウスウエスト (SXSW)」というイベントをご存じでしょうか？

SXSWとは、毎年3月に米国テキサス州の州都オースティン市で開催される、音楽・映画・インタラクティブⁱⁱの3つを組み合わせた、複合イベントです。1987年に音楽祭として始まり、その後、映画とインタラクティブ部門が加わり、近年は世界的な注目を集める最先端技術の一大イベントとなっています。期間中は、街中のいたるところでカンファレンスや音楽イベントが開催され、2019年のSXSWには世界100か国以上から40万人を超える人々が参加したと言われています。

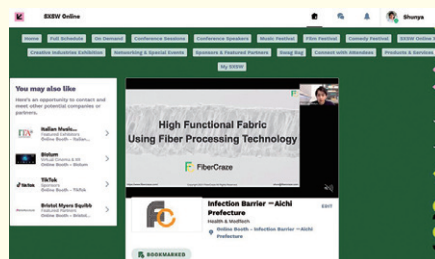
また、2007年にTwitter社が、2011年にはAirbnb社がインタラクティブ・イノベーション大賞を受賞し、その後急成長したことでよく知られています。

愛知県では、2018年度から県内大学生・研究者のグループをSXSWのインタラクティブ部門の展示会に派遣しています。この事業は、愛知県が米国テキサス州と2016年4月に締結した「友好交流及び相互協力に関する覚書」に基づき実施

しており、最先端テクノロジーを開発する世界的な企業の出展をはじめ、世界の注目を集める展示会において、学生が自らの研究・開発成果を英語で発表するという体験を通してグローバル人材へと成長するための機会を提供することを目的としています。



▲ SXSW2019 の会場の様子



▲ SXSW2021 オンラインの様子

世界へ向けて！

2019年3月に、第一陣となる学生2チームがSXSW 2019に出展し、彼らの展示は、トイレ休憩もままならないほどの大盛況でした。しかし、翌年は新型コロナウイルスの世界的な流行に伴い、SXSW自体が中止に。この年派遣予定であった学生2チームは翌年、全面オンライン開催となったSXSW2021に出展しました。展示会の開催時間は、米国中央標準時間の10時から17時。日本との時差が14時間あることから、完全に昼夜逆転となる時間帯での出展となりました。

通常通りの対面での開催となったSXSW 2022へは、選考ⁱⁱⁱの結果2チームが派遣されることとなりました。しかしながら、日本及び米国国内の新型コロナウイルスの拡大や水際対策の厳格化等から渡航は厳しいと判断し、やむなく派遣を中止することとしました。

新型コロナウイルスの流行によって多くの社会活動が制限され続けてきましたが、2022年には様々な規制が徐々に緩和され、人々の往来もようやく活発になってきました。今年3月に開催されるSXSW 2023には、昨年度選定された2チームが出展します。それぞれのチームは出展に向け、自らの研究・開発製品をブラッシュアップ^{iv}し、英語のピッチ^vスキルを磨いています。世界から注目を集めるSXSWの会場で、世界各国から来場する様々な人々と交流して意見を交わし、今後のグローバル社会で活躍する人材となることを期待しています。

Interviews



長曾我部 竣也氏【SXSW 2021 参加】
ファイバークレーズ株式会社
 代表取締役社長 (2021年9月設立)
 防虫・保湿・抗ウイルス等の機能を持つ繊維の研究開発及び製品の製造・販売などを行う。

SXSW2020が直前で中止となり、翌年のオンラインに出展しました。僕らはモノを作っているのだから、製品に直接手で触れて五感で体験してもらいたかったのですが、オンラインでそれができなくなったことがとても悔しかったです。しかしオンラインでも伝えられること、やれることはある、と前向きに対応策を練りました。昼夜逆転だったので、そこは辛かったです(笑)。工夫せざるを得ない環境に追い込まれた結果、積極的にバーチャルブースを回ってメッセージを送ったり、アクションを起こしたりすることができ、アメリカの企業等から連絡をもらってビジネスの話をすることもできました。SXSWに出展したことで、自分たちの事業について、改めて世界の視点で客観的に見るきっかけになり、自身にとって貴重な経験となりました。



▲ 研究開発製品

これまでの出展者

行事	出展内容	チーム・代表者
SXSW 2019	● "MAZE STEM TOY" (STEM教育のための迷路玩具作成キット) ● 高精度センサーを利用した非拘束型の生体反応測定機器	[ア・メイジング・メイカー] 坂本律子 (名古屋工業大学) [SNICS] 渡邊史郎 (名古屋大学)
SXSW 2020	SXSW 中止	
SXSW 2021 全面オンライン開催	● ジャズミュージシャンのための耳コピ支援アプリ『MuSep』(ミューゼップ) ● Infection Barrier (世界で唯一の繊維加工技術を用いた高機能性衣料)	[MuSep] 久野文菜 (中京大学大学院) [Fiber Craze] 長曾我部竣也 (岐阜大学) ※愛知県在住
SXSW 2022	派遣中止	
SXSW 2023 (派遣予定)	● Elephant (発酵コーヒーによる豆の付加価値の向上及び味覚評価システムの開発) ● inhand (ジェスチャーで操作するインタラクティブプレゼンテーションサービスの展開)	[Sniff out the COFFEE] 田中健二郎 (名古屋大学大学院) [inhand] 高橋遼 (豊橋技術科学大学大学院)

※詳しくは <https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kokusai/sxsw.html>

Interviews (SXSW2023 に参加する学生にお話を聞きました)

Sniff out the COFFEE (スニッフ・アウト・ザ・コーヒー)

竹本 悠人 氏 (名古屋大学大学院)

— コーヒー好きが開発したフルーツ発酵コーヒー

ジャコウネコの体内で発酵してできる幻のコーヒー、コピ・ルアクをヒントにし、フルーツの酵母をコーヒー豆に添加することで発酵コーヒーを作る技術を開発しました。

まずは、自分たちで製造したものを EC サイトで販売を行うよう事業を進めています。将来的には、各地の特産品として地元的水果を使った発酵コーヒー作りや、更には、コーヒー豆に付加価値を付けることにより、現在貧困にあえいでいるコーヒー農家の救済に役立てたいと考えています。

— 英語でのピッチ

英語に関しては、海外の学会で行った論文発表などの経験が役立つと思います。また、昨年度より、愛知県の紹介で米国の大学による起業家教育の講座を受けており、その中で効果的な英語でのピッチについて教えていただきました。今後も練習の機会を設けていただいております、大会前にさらに改善していきたいと考えています。

— SXSW 出展で得たいもの

現在、コンテストから2年たち、事業化に向けて活動中です。自分たちのビジネスモデルについて、海外の投資家からのご意見を伺いたいと思います。

次に、コーヒーの大きな生産地である南米で市場調査の実施に向けて、コーヒー生産農家とのネットワークを持つ事業者とのコネクション作りが出来ればと考えています。

個人としては、他のブースに参加されている起業家、特に同世代の起業家と知り合えるのを楽しみにしています。東海地域では起業を目指す学生数はまだまだ多くありません。多くの学生の起業家を輩出しているアメリカで、彼らがどのようなプランを持って、どんなマインドで起業を考えているのかについて話し合ってみたいです。



▲チームのメンバー (右側3名: 左から田中健二郎氏、西依翼真氏、竹本悠人氏)



▲ピッチ練習の様子

inhand(インハンド)

高橋 遼 氏 (豊橋技術科学大学大学院)

— ハンドジェスチャーで操作するインタラクティブプレゼンテーションサービス

オンラインでのプレゼンテーションにおいて、画面上に自分を投影し、そのジェスチャーによってスライドや3D オブジェクトなどのプレゼンテーション画面を操作できるプログラムを開発しました。これにより、発表者は動きの自由度が増し、対面式と同様のより魅力的なプレゼンテーションが可能となります。

教育現場のオンライン授業において、教師はスライドと共にボディランゲージを表現でき、教室と同様の授業を行うことが可能となります。さらにシンプルで使いやすいソフトウェアを追求していき、多くの方に気軽に使っていただけるサービスを目指しています。

— ブース出展について

ブースでは、会場を歩き来する方々の興味を惹くようにプロジェクターで自分たちのプログラムを投影する予定です。

英語でのプレゼンテーションは留学時や海外の学会で経験してきましたが、正しくわかりやすく説明する論文発表とは違い、場内で製品のセールスをするためには、魅力的に伝えるという別の技法が必要ではないかと考えています。実地でセールストークを重ねることにより、より魅力的なプレゼンテーションの方法を探っていきたいと思っています。

— SXSW 出展で得たいもの

SXSW は海外の投資家や事業者と会うことの出来る良い機会です。海外の業界やビジネスを知る投資家に、このサービスに対するご意見を頂くことが最大の目的です。私は、愛知県が主催するハッカソン^{iv}等にも参加し、賞を頂いておりますが、大学の研究生なので、現実のビジネスや市場の情報を多く持っているとは言えません。ICTの領域では次々と新しい技術や手法が現れ、大手の事業者も存在するなかで、投資家からどんなご意見がでるかとても楽しみにしています。



▲チームのメンバー



▲ピッチ練習の様子

i 起業家
ii 相互に情報を交換できるシステム
iii 東海地区5大学 (名古屋大学、豊橋技術科学大学、名古屋工業大学、岐阜大学、三重大学) による起業家育成プロジェクトである Tongali プロジェクトと連携し、2021年度のSXSW 派遣チームを選定。

iv 現状よりも良い状態を目指して洗練させ完成度を高める
v 製品やサービスをアピールするための短いプレゼン
vi ソフトウェアのエンジニアリングを指す「ハック」とマラソンを組み合わせた造語で、IT を活用して新たな製品・サービスを競い合うイベント